

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

ISSN 1347-7994

Autumn

Vol.
61

Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]

「特集」
新学長が語る
長崎大学の挑戦

ART@CAMPUS

No.07



Title

細密着彩

小川恵莉さん
教育学部 中学校美術教育コース 美術専攻

「絵画基礎」授業制作作品。カキの内側のツルツルした質感と外側のゴツゴツした質感の違いや、貝の存在感を意識して描きました。

Choho

長崎大学広報誌[チョーホー]
Vol.61

2017年10月1日発行

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>



国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

特集 | 新学長が語る

長崎大学の挑戦

President Interview

2017年10月1日より、長崎大学は新しく河野茂学長を迎えての体制がスタートしました。そこで今号の特集では、河野学長にこれからの長崎大学について、たっぷり語っていただきます。聞き手は長崎経済研究所の小川洋さんです。行政、産業界と長崎大学をとり結ぶ都市経営戦略推進会議のメンバーである小川さんは、大学の地域貢献についてもその重要性を強く訴えておられます。地域の中であって長崎大学はどうあるべきか。どのような学生を育み、日本や世界に挑戦していこうとしているのか。深く濃い巻頭インタビューです。

Challenge
of Nagasaki University

河野茂
長崎大学長



小川洋
長崎経済研究所
代表取締役社長



CONTENTS

特集	新学長が語る長崎大学の挑戦	1
環境科学部	座談会「地域の先に世界がある」	9
大学の知	外国人患者へ先進医療を提供し 海外へ高度医療を輸出 長崎大学病院 国際医療センター	13
卒業生に聞く	川久保晶博さん	15
クラブ・図譜	コバンザメ	17
贈る言葉	グローバル化時代における 長崎大学の意味	19
Information	大学院設置情報・クイズ・プレゼント	21

若い人がチャレンジ できる大学へ

小川／河野茂学長、まずは長崎大学学長ご就任おめでとうございます。学長／ありがとうございます。長崎大学の学長という重責を引き受けるにあたり、身の引き締まる思いですが、萎縮することなく心新たに挑戦したいと思います。

小川／河野新学長がこれからのような長崎大学を目指していかれるのか、受験生はもちろん、長崎県内外の経済人や行政、卒業生など、多くの方が大いに注目していることと思います。本日はよろしくお願いたします。

さて、まずこの「チヨール」の主な読者である高校生に対して、学長の思いをお聞かせください。

学長／一言でいうと、若者には、長崎大学という場でどんなチャレンジしてほしい、私たちはその環境を整えることに全力で臨むので安心して飛び込んできてほしい、ということ。そして、長崎に来られる国内外のさまざまな人と出会い、世界的な幅広い視野を身に付けてほしいですね。

私自身も長崎大学医学部の出身で、今年ちょうど創立百六十年に当たります。百六十年前の一八五七年十一月十二日、オランダ人医師であるボンペ・ファン・メーデルフォールト先生が医学伝習所で近代西洋医学の教鞭を執りました。長崎大学医学部はこの日を開学の日としています。実はこのとき、ボンペ先生はたった一人で十二人の若き日本人医学生を相手に、物理学、化学、系統解剖学、生理学、病理学、調剤学、内科学、外科学といった膨大な量の学問を教えていたのです。それはやがて全国に伝わり、近代医学の基盤となりました。当時、



ボンペ・ファン・メーデルフォールト
J.L.C. Pompe van Meerdervoort (1829-1908)
(長崎大学附属図書館蔵 ボードインコレクション)

先生は何歳だったと思いますか？なんと二十八歳なんです。小川／え！ずいぶんお若いですね。学長／齢二十八で大変な功績を残したことになります。ものすごい情熱とエネルギーですね。私を含め、本学の教職員は、今もこのボンペ先生の志の高さとともに、若い世代の可能性や潜在能力の高さを常に意識し、理解しながら、学生と共に歩んできました。これは本学の個性の一つといえます。例えば、一九六〇年代にはすでに医学部の若き研究者がアフリカの各地で医療支援活動を始めています。以来、長年にわたり実績を重ねながらケニアに拠点を

志の高い学生を 育む教育

礎となる学力と体力を土台として、未知の分野や見知らぬ人の間に飛び込む勇気が必要です。飛び込んだ後は、失敗を繰り返しながらでも、自分の夢や目標に向かって情熱を注ぐ。課題を発見して自分で考え、解決策を見いだす。そのような未知の領域に挑戦する熱意と根気、困難に立ち向かう勇気と積極性といった資質は、学生のうちに社会との関わりの中で身に付けて磨いていくことができます。考えています。

小川／学長は四つの基本方針をお持ちだと聞きました。その内容についてお教えてください。

学長／大学が持つ重要な役割ごとに基本方針を掲げました。まず、教育については「社会に貢献する志の高い学生を育む教育」です。研究については「ヒトの幸福と平和を希求し、科学を用いて世界に資する研究」。地域貢献については「長崎の未来を創る大学」。そして最後に、働く場所としての大学を「教職員の多様性とやる気を生かす大学」とした四本柱です。小川／高校生が入学したい大学、地域が期待する大学、教職員が「ここで働いていきたい」と思うような大学。その解決策が四つの基本方針に含まれているということですね。

学長／教育方針から順にご説明していきます。これまでの三期九年間の任期をまっとうされた片峰茂前学長は「モジュール」という大胆な仕組みを導入し、教養教育の改革にあたりました。加え

築き、国際保健医療において大きな存在になっています。また、東日本大震災の際も、片峰前学長自らが旗振り役となり、民間の船としてはどこより早く被災地に赴いて、大量の救援物資を届けました。その後、多くの長大生が率先してボランティアに赴き、今も復興支援を継続しています。日常的にも学生の自主企画を公募して実現をサポートする「夢への架橋」プロジェクトが定着しています。少々無謀でもチャレンジしてアクションを起こすことを歓迎する気風がキャンパスに根付いているのです。

一般に、今の若い人たちについてはメディアから「ゆとり世代」、「さとり世代」と決めつけられがちですが、そんな言葉にとらわれず、のびのびとした大学生活を送りながら、さまざまなことに勇気を持ってチャレンジしてほしい。私たちはその思いががちり受け止めます。

小川／学長は、学長選の際にも、日本の未来を担う人材の資質に欠かれない「勇気ある挑戦」であると強調されていました。非常にとがった言葉だと感銘しています。

て、本学の長年の夢であった人文社会学部「多文化社会学部」を新たに立ち上げました。その後を引き継ぐ私の役割は、学部専門教育への取り組みであると考えます。長崎大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）という三つのポリシーに基づいた教育の体系的な実施と評価を積極的に進め、教養教育から専門教育への流れを整理します。

特に大学院教育においては、グローバルに通用する教育課程の編成が急務です。問題を解決するためには、チームとしての総合力が優れていなければ柔軟に対応できません。本学には、多文化、教育、経済、医学、歯学、薬学、工学、環境科学、水産の九学部がそろっており、熱帯医学研究所や原爆後障害医療研究所といった専門に特化した研究所もあります。来年度はそれに加えて、人文社会科学系の大学院も新たに誕生する予定です。この特徴を生かして学部や部局を横断した教育の充実化を

未来の人材の資質に 欠かせないのは 「勇気ある挑戦」

Hisashi OGAWA



株式会社長崎経済研究所
代表取締役社長

小川 洋

おがわひろし
1978年慶応義塾大学商学部卒業後、十八銀行入社。桜町支店長、大村支店長、佐世保支店長を経て2010年、取締役常務執行役員を務める。2016年退任し、長崎経済研究所代表取締役社長に就任。

※1 / モジュール：ひとまとまりの科目群。長崎大学では、現代社会が直面しているテーマを柱にし、いくつかのモジュールを構成しており、学生が選択できるシステムとなっています。

図ります。

小川／確かに、人文社会科学と自然科学の双方がそろった総合大学の強みを意識することは大きな鍵といえますね。具体的にはどのような取り組みが考えられますか。
学長／例えば、医療技術の開発にあたる医学部と工学部、また医療経済には医学部と経済学部、子ども心に関して教育学部と医学部といった学部同士の連携です。未来の海洋エネルギーについては水産分野と工学分野が連携した新しいプロジェクトも立ち上がりました。

このような多様性が本学の財産といえます。異分野の融合には、教員が一緒に働ける場をつくる、緩やかで柔軟な仕組みがいいでしょう。学生はそれぞれの学部で学びながら自身の研究テーマや将来の働き方を模索するわけですが、その過程の中で関心を持った異分野にも積極的にアプローチしていける部局横断的な環境が整備されていると、その後の動き方もまったく違ってきます。そのため部局同士の情報共有を推進しながら、学生にとって風通しのいいプラットフォームを形成していきたい

理解している大学であると自負しています。世界情勢が不安定な今こそ、人類の平和に貢献する研究を希求すべきです。わが国が抱える人口減少や急速な高齢化問題は待ったなしですし、世界に目を向ければ地球規模の環境変動、貧困問題や災害、絶えることのない紛争など、社会は脅威に満ちています。これらに対して本学はいくつかの答えを用意してきました。例えば、今日のようにグローバル化した世界においては、エボラや新型コロナウイルスエンザなど、次々と新たな脅威となる病原体が出現していますが、本学はすでに研究・臨床に着手しています。さらに、被爆都市として核兵器廃絶への取り組みや、海洋未来を見据えた専門性の高い研究がすでに始まっています。この秋には最新設備を備えた新しい実習船「長崎丸」も完成し、実習や研究の幅が広がります。多様性を強みとしながら、異分野融合や新しい挑戦から生まれる質の高い研究にも期待しています。
小川／昨年からスタートした熱帯医学・グローバルヘルス研究科などはその好例で、各地から熱い視線が注がれていますね。

ます。

小川／なるほど。すると学生は、個々の専門性を持ったさまざまな先生に接しやすくなるというメリットがありますね。今の学生の一番の関心事といえる最終的な出口、つまり就職活動の選択肢も広がる可能性があります。受け入れ



水産分野と工学分野が連携した未来の海洋エネルギー開発

長崎の海を舞台に現在進行中なのが、洋上風力や潮力、波力といった再生可能エネルギーを基盤とした海洋技術クラスターを構築する壮大な計画です。長崎県や多くの企業からなる協議会に加え、長崎大学の工学部や水産学部の研究者が研究や人材育成に貢献しています。

ん、学生の就職活動におけるサポートも最も重要な課題です。高校生も保護者の皆さまも、最も気になる場所でしょう。私は、学長自ら出口対策の旗振りをするくらいに気概を持っていますよ。景気の良し悪しに関係なく、「長崎大学の学生はユニークで優秀だから、学生の就職活動におけるサ

先である企業にとっても、専門性に特化した学生だけでなく、異分野への広い視野と関心を持つ学生は、人材として非常に魅力的です。学長／先ほど「挑戦する勉強」という言葉を使いましたが、異分野への広い視野はこのような環境でこそ育まれると思います。もちろん

学長／はい、同研究科には、英国のロンドン大学からエボラウイルスを世界で初めて発見したピーター・ピオット博士をはじめとする世界的権威の教授陣が講義を行っていただきます。研究業績を上げるためには、教員が研究に集中する環境を整備し、国際的な連携を強



熱帯医学研究者の熱い視線を浴びるグローバルヘルス分野の研究

2015年に坂本キャンパスに完成したグローバルヘルス総合研究棟は、熱帯医学、国際保健、ヘルスイノベーションをキーワードとするグローバルヘルス領域の教育・研究拠点です。教員も学生も多国籍で、ここから世界で活躍する人材が巣立っていきます。

討しています。小川／長崎経済研究所もいくつかの国際友好協会を持っています。が、学術的な国際交流や研究者の行き来が活性化することは、知の拠点としての長崎の発展にも大いに寄与します。

化することが肝要です。日本はもとより、世界中の研究者に注目され、「長崎だからこそ、この研究ができる」と優秀な研究者が集まる仕組みづくりは重要課題です。そのために、研究をマネジメントしながら支援する人材であるURAを部局に配置することも検

長崎だからこそできる研究

学長／大学の大きな役割である研究についての基本方針は「ヒトの幸福と平和を希求し、科学を用いて世界に資する研究」です。最高学府で研究される科学が、ヒトに幸福をもたらさなければ、何のためにあるのでしょうか。日本で唯一被ばくを経験している医科大学を前身とする医学部や薬学部を持つ本学は、それを最も深く

学長／逆に入口、つまり入学試験ですが、現在は改革の機運が高まっており、私たちも他大学に先駆けて長崎大学にふさわしい学生に入学してもらおうためのシステム作りを行っています。

小川／それは受験生にとって一番知りたいことでしょうし、不安の種類でもあります。

学長／受験生の皆さんが不利にならないよう、安心して入試に臨める体制を整えて周知していきます。特に、高校の進路指導の先生や保護者への情報提供を迅速に進めます。

学長／本学の基盤の安定において、地域貢献は欠かせません。地域経済や、工業・水産などの産業界、地方公共団体などへの関与を通じて長崎を活性化させることは、本学の使命の一つです。ネットワークの要としての役割を果たすとともに情報の発信源となるには、これまで行ってきた研究シーズのデータ化をさらに進めなければいけません。産学官で連携しながら地域経済情報などの収集を強化し、教育や研究の現場に役立てる汎用・活用しやすいシステム作りを目指します。

小川／大学発ベンチャーが活況ですが、中にはキャンパスの中に社屋を設け、一部上場を果たしている例もあります。私自身は、大学での学びは学生時代にはピンと来ず、社会に出てから初めて役立ったという実感があります。学生にとって、ビジネスに少しでも触れる場があれば、学びと社会が直結していることを早いタイミングで知ることができるといいでしょう。

学長／そうですね。そういう意味でも学生が会社で学ぶクラシック（参加型実習）を活性化させ、早く現場の雰囲気を知って

地域情報の発信源となる大学

小川／第三の基本方針である「長崎の未来を創る大学」は、地域における長崎大学の存在意義にも関わってきそうです。

※2/URA:University Research Administratorの略。大学の研究を推進するために、研究戦略の立案から環境整備、学外に向けた広報まで幅広く研究をサポートする職種。

本学の強みは他大学より 抜きん出る潜在能力

Shigeharu KOHNO



長崎大学長

河野 茂

こうのしげる
1974年長崎大学医学部卒業後、長崎大学助手、ニューメキシコ大学医学部研究講師を経て1996年長崎大学医学部教授となる。2006年同大学医学部長、2009年同大学理事(病院担当)・病院院長を歴任し、2014年同大学理事(総務担当)・副学長(計画評価担当)に就任。2017年10月より現職。

もらい、社会で何が役に立つかわかってもいいですね。何しろ本学には学生九千人、留学生を合わせれば約一万人が在籍しており、彼らのパワーは計り知れません。ボランティア活動も盛んですが、これを実習として評価し、単位に結び付けることも考えています。そうすることで、例えば工学部で学ぶ学生が地域の街づくりや整備計画について提言したり、医学部で学ぶ学生が高齢化や介護の課題にアイデアを生かしたりといった、学びに連動した動きをもっと活性化できるのではないのでしょうか。

小川／実現すれば若い世代ならではの発想や新鮮なアイデアが期待できそうですね。

学長／働く場としての大学の改革についても考えています。本学が将来にわたって存続し、強固な基盤を築いていくためには、国だけに頼らない複数の基盤を持つ方が有利なことは自明です。次の一手を打ちながら外部の評価を得るために、教職員が持つ能力を最大限に引き出すこと。そのためには、チームワークを考慮した仕事の進め方、多様性を認めた手法など、

やりがいのある職場にする仕組みが必要です。少し時間はかかるかもしれませんが、将来に向けて新規の教員から年棒制を導入することも検討中です。

実績の一つ、 大学病院の改革

小川／ところで、河野学長はこれ

です。

学長／ええ、ですから経営というのは、お金だけでなく物や人を動かすものだという感覚を子どもの頃から養った、筋金入りの経営者ですかね(笑)。珍しいタイプの医師でしょうか？

小川／「三つ子の魂百まで」とはこのことですね。しかし一言で病院の組織改革といっても、簡単ではなかったのではありませんか？

学長／まずは病院で働く皆さんの不満をヒアリングしました。まとめ役が現場の声をうまく集め、改革にまい進してくれました。

小川／まさに「答えは現場にある」の実例で、改革には現場の支持が必須なのですね。リーダー論としても興味深いお話です。

学長／私自身は、深く考えるよりも体が動く性質です。検討して戦略を練るのは周りのブレーンがやってくれます。気が付くと周囲にそういう素晴らしいブレーンがいてくれる、運がいいのです。皆さんの尽力で、患者さんにとって最適な治療を受けられる、職員が働きやすい病院への転換ができたという自負があります。

小川／それはまた、すごい経験

挑戦し続ければ 道は開ける

小川／そのような経緯を経て、このたびいよいよ学長として長崎大学全体のかじ取りを任されたわけですね。病院経営と大学運営では違う点もありそうですね。

学長／大学病院と比べて、大学全体となればステークホルダー(利害関係者)の要素が格段に多いですね。学生と教職員に加えて、地域社会、産業界、地方公共団体と、さまざまな関係者がおられてそれぞれの考え方があります。実に多様性に富んでおり難易度も上がる中で、方向性をしっかり指し示していく大きな責任が学長にはあります。

小川／私自身は、これまでの経験も踏まえ、どんなに困難な状況でも必ず道はあると信じています。挑戦し続けた人生から、これは断言できます。道は必ず開ける。これからの道を選ぶにつ、歩み続ける所存です。一歩踏み出せば、必ず次の一歩を踏み出すことに全力を尽くす。本学は多

た。決して裕福な家庭ではなく、天才でもありませんでしたから、努力を重ねて佐世保南高校から長崎大学医学部になんとか進学しました。学生時代はテニスに夢中になりました。私はスポーツが大好きです。卒業して医師になったら、波佐見に戻って開業するつもりでしたが、先輩に誘われて結局、大学病院での研究の道を選びました。

小川／進路を変更したわけですね。ずいぶん悩まれたのではないですか？

学長／それは悩みましたよ。しかし先輩の「日本人だけでなく世界のいろいろな人と出会い、さまざまな経験をすることは、人生にとって決してマイナスにはならない。長崎大学にはそれがある。これも一つのチャンスだよ」という一言で背中を押さ

くの人的資源に恵まれており、他の国立大学や社会組織との競争で抜きん出る潜在能力があります。それらを發揮するためには、常識にとらわれないブレークスルーが必要ですよ。ひとたび道を見つけて歩き出しさえすれば、追い風が吹くようなスケールメリットの獲得までの間を必死に進めばいい。そして、これから長崎大学にやってくる若人たちが、一緒に未来へと進んでくれる。私はそのように考えています。

小川／おっしゃるとおりです。学長のお言葉の中に、これからの長崎大学がさらに輝くヒントがたくさん含まれていると感じました。明るい未来を見据えて一歩一歩足を進める中で、私も地元企業も今後とも大いに協力させていただきます。本日はありがとうございます。

学長／こちらこそ、ありがとうございます。今日お話ししたことの実現は大学だけの努力では到底不可能です。地域経済の力をお借りしながら共に歩みを進めていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



環境科学部 創設20周年

地域の先に 世界がある

20年の蓄積の中で
世界を見据えた展開が実現

Faculty
of
Environmental
Science

1997—2017

長崎大学環境科学部は一九九七年に創立し、今年で二十周年を迎えます。そこで、環境科学部の成り立ちと特徴、そして未来について語り合う座談会を開きました。お集まりいただいたのは、環境科学部の卒業生である、長崎大学原爆後障害医療研究所助教の中沢由華さん（二期生）、長崎県自然環境課にお勤めの出口りえさん（二期生）、現在四年生の岡野孝哉さんと有田百合絵さん、山下樹三裕学部長です。

さらに成熟する 「文理融合」

真価は多岐にわたり 生かされる

日本においては現在もおお、環境汚染や、天然資源の枯渇、地方の過疎化などが深刻化しています。そのような中で本学部は、「自然と人間の調和を踏まえた自然環境の保全と持続可能な人間社会の実現に役立つ人材の育成」を教育理念に掲げ、現在に至ります。

—— 山下学部長、そもそも環境科学部が誕生した背景はどのようなものでしたか。

学部長／環境科学部が誕生した一九九七年当時、地球温暖化や絶滅危惧種が問題視されるなど、世界規模で環境意識が高まりました。学部が誕生した背景はどのようなものでしたか。

出口／私は二期生として環境科学部を卒業し、長崎県庁に勤めています。二年前まで在籍していた保健所では水質汚濁防止法の担当で、事業場や工場、畜産農家などの排水を調査していました。基準値を超えると当事者に排水処理について指導する場面もあり、説得するためのコミニ



島原半島ジオパーク巡検

環境科学部が例年実施している「フィールドスクール」では、地域が抱える環境問題と、それを克服・解決するための実践活動が紹介され、学生が現地にて体験することができます。

ニケーション能力も必要になってきます。まさに学部長がおっしゃった本学部の文理融合教育が実践で役立っています。今は自然環境課でジオパークの活用に取り組んでいます。地質や地層の知識はもちろん、それをどのようにツーリズム等の活用を生かしていくかが課題です。大学でエコツーリズムや地質と火山を専門とする先生の下で学んだ経験が生きています。

—— 実社会での経験に裏打ちされたお話は説得力がありますね。

学部長／本学部では特に低学年のうち幅広い知識や技術に触れながら自身のテーマを見つけていくカリキュラムを組んでいます。高校生のうちは、自分が何に興味を持っているかや将来像についてあまいものも無理はありません。そこで、まずは広く浅く、さまざまな学問を俯瞰的に学んでいく中で、だんだんとテーマを絞り込んでいく流れとなっています。場合によっては二年次以降、文系から理系へ、また理系から文系へとシフトすることも可能です。

有田／そういえば私の友人たちは、みんな入学当初は自分のやりたいことを見つけられずにはいましたが、さまざまな知識を学んでいくうちに、「私は教育に携わることが好き」「法律に興味がある」といったテーマを見つけて、それぞれの先生のゼミに入って専門性を深めていきました。私はまちづくりに興味があるのですが、みんなで集まって話をしていくと異分野の話が刺激的で視野も広がります。

岡野／僕も最初、大学で何を学ぶべきかほんやりしていた時期もありました。そんな時に大学で諫早湾の干拓問題を知り、現在では卒業論文のテーマに調整池の水質調査を選んでいます。実は小学校から高校まで諫早に住んでおり、物心がついた時には諫早湾は閉め切られていました。



自分の興味のある
テーマを、
ここでじっくり
見つけてほしい
山下樹三裕 学部長



発見の瞬間の感動や 研究の面白さを 後輩に伝えたい

中沢由華さん
長崎大学原爆後障害医療研究所勤務(1期生)

でも漁業や干拓農業を営んでいる家庭の子もいるからと、学校でこの話題はタブーでした。だから、問題を知った時は自分の無知が恥ずかし、また逆に研究テーマにしてみようと思ったのです。

学部長／二十年前でこういう世代が育ってきたのは頼もしい限りです。中沢／私は現在、原爆後障害医療研究所でDNA機能修復学の研究に携わっています。遺伝子から難病のメカニズムを解析していますが、この分野に興味を持つ最初のきっかけは、本学で放射線生物学と出会ったことでした。それまでは「何か人の役に立つ仕事がしたい」といった漠然とした思いだけがありました。今は後輩たちに研究の面白さを伝えたいですね。「この事実が気付いたのは世界中で私一人なんだ」という驚きと感動は大変なものです。そうですね、ジェットコースターに乗った時のぞくぞくした感じに似ています。

有田／うわあ、そういうお話を一年生の時にお聞きしたかったです！
学部長／ではなるべく早く中沢先生にお話をしてもらおう機会をつくりましょう。

グローバルとローカルの 問題は相反しない 地域課題の解決法は 海外に活用できる

学部長／環境科学部の考え方は、地域の先に世界がある、グローバルとローカルの問題は相反するものではない、というものです。十年前スタートした「Eキャンレッジ推進事業」は、長崎県、雲仙市、本学で協定を結んだものですが、これをさらに発展させたものが昨年設置したアジア環境レジリエンス研究センターです。「レジリエンス (Resilience)」とは、環境学では地球規模の環境変化に対する回復力や復元力を意味します。セン

れる研修メニューも充実してきました。環境をテーマにした英語コミュニケーション講義もあります。

中沢／うらやましい！ 私が学生の頃はそんな講義はなかったなあ。

有田／私は国際ワークシoppに参加しました。米国カリフォルニア大学バークレー校の学生が一週間長崎に滞在し、グラバー園周辺の観光資源をランドスケープデザインの観点から一緒に調査して提言をするというものでした。自然公園の管理を経験した学生や、大手メディアCNNでの勤務経験のある学生もいて、日本人には気付かない視点もあり勉強になりました。

出口／近年インバウンドは注目されているので、興味深いですね。

岡野／僕も交換留学で米国に行きましたが、それ以降外国人学生の日本語学習を手伝うなど交流を始めた。英語はあまり得意ではないのですが……。

中沢／でも、その積極性が大切なんです。私も英語は得意ではないけれど、研究の現場で海外の研究者や患者さんと触れ合うこともあり、いつも辞書を手放しません。最初の一声を突破すれば、身振り手振りでもなんとかなるものです。実地ではコミュニケーション力の方が大切です。

あらゆる仕事に 生きてくる 環境保全の 知識とスキル

——環境科学部は、卒業生の就職率が高く、就職先の職種も多彩ですね。
学部長／行政も企業も、今は環境への配慮なしでは活動できません。学部独自でキャリア相談室を



友人たちは 興味方向性が異なり、 視点の違いが 新鮮です

有田百合絵さん
環境科学部4年生



世界遺産「旧グラバー住宅」

長崎市南山手は世界遺産の一つである旧グラバー住宅を有するグラバー園や、国宝の大浦天主堂が点在する長崎有数の観光地です。ここではエリア全体の活性化をテーマに学生や外国人によるフィールドワークが展開されています。



地熱シンポジウム in 雲仙

2017年2月長崎大学と雲仙市の共催で「地熱シンポジウムin雲仙」を開催しました。本シンポジウムを契機に「レジリエンス教育研究推進拠点」の形成に向けた地域ネットワークの構築・進化が図られるとともに、産学官連携の取り組みの発展が期待されます。



広く環境を学べば、 広く地域に 貢献することができます

出口りえさん
長崎県自然環境課勤務(12期生)

ターでは、島原半島を主なフィールドにしながら、地域社会の環境課題に対する「地域レジリエンスモデル」を産学官連携で構築し、同様の課題を持つアジア各国へと展開しています。もちろん規模や条件は調整することで応用は可能でしょう。具体例を挙げますと、未利用地熱やバイオマスの活用、地下水汚染の原因となる窒素化合物のバイオエネルギーの開発、微生物の力を活用したレアメタル回収、火山・気象災害に対する危機管理モデルの開発、越境大気汚染に対応した政策提言など、実に多岐にわたります。学びの中でフィールドワークを重視しているのも、まず地域の実態を把握する大切さを実感してほしいからです。そういえば、授業以外で、地域に出て問題点を探す「フィールドスクール」というプログラムを県内各地で展開しているのですが、その一つとして学生たちに雲仙市のミヤマキリシマの保全活動に参加してもらったことがありました。現在では学生たちが自主的に継続し、課題解決に向けて地元と協同作業を行っています。

——研究者レベルでも、また学生の自主活動としても、いろいろな取り組みが同時進行しているのですね。その成果や提言が海外でも活用できそうです。

学部長／環境問題には国境はありません。地球全体の共通課題も多いことから、学生たちも将来は海外に羽ばたいていただきたい。そこで英語力やコミュニケーションスキルを身に付けるためのサポートを学部としても行っています。本学部と学術交流協定を結んでいる海外六大学から同世代の学生がサマースクールや国際ワークシoppに参加し、逆に本学部の学生が海外の大学で共修するなど、期間や特徴の異なるプログラムに気軽に参加できます。短期・中期の海外研修は、当初の一、二年生向けの初歩的なものから、近年は高学年で専門性に特化した学びが得ら

設けており、情報提供など手厚い支援を行っています。卒業生は、ここで培った知識を生かしてさまざまな分野で活躍しています。

出口／私もそうですが、県や市など行政関係の職種に就く人は多いですね。その他、銀行や保険会社に就職した人もいました。

学部長／環境関連の企業はもちろん、警察署や消防署勤務の方もいます。行政関係が多いですが、特別な公務員対策講座などは行っていません。社会科学と自然科学をバランス良く学んだことが公務員に求められる資質に合うのかもしれませんが。

出口／広く環境を学んでいるからこそ広く地域に貢献できます。住民の考え方に寄り添うことも多角的に考えることもできる能力が、いつのまにか身に付いてきます。

学部長／本学部は入学定員の中に私費留学生枠があり、これまでで中国をはじめアジア各国の学生が百三十一人巣立っていきました。彼らの中には、そのまま長崎で就職する人もいますし、母国に帰って大学の研究職に就く人も出てきました。

——それはこれからの国際交流においても力になりそうですね。
学部長／二十年前という年月の中で、当初描いていた夢が少しずつ形になってきたという実感がありません。

——長崎の持つ可能性が環境という切り口から世界に広がっていることがよく分かりました。皆さんありがとうございます。

ところで、十一月四日(土)には、環境科学部創立二十周年記念事業として記念講演(一般参加無料)や祝賀会(事前予約制)が行われます。詳しくは環境科学部のホームページをご覧ください、奮ってご参加ください。



諫早湾干拓問題を知り、 水質調査を 研究テーマに 選びました

岡野孝哉さん
環境科学部4年生



来日した外国人が
高度先進医療を受けられる
J-IHに認定

今年八月初旬、長崎大学病院は九州の国立大学病院としては初めて、一般社団法人MEJが推奨する「ジャパンインターナショナルホスピタルズ（J-IH）」に推奨されました。J-IHとはどのような病院なのでしょう。国際医療センターの江口晋センター長にお話を伺いました。

「この事業は、二〇二〇年の東京オリンピック開催に合わせて日本の高度医療を世界にアピールし、産業として活性化させる国の施策に沿って海外からの渡航受診の受け入れを促進することを目的としています。その意欲や実績があり、取り組みを行っている病院をJ-IHとしてMEJが推奨し、海外へ情報発信します。つまり、この認定を受けたことで海外からの外国人患者さんが長崎大学病院を訪れて高度医療

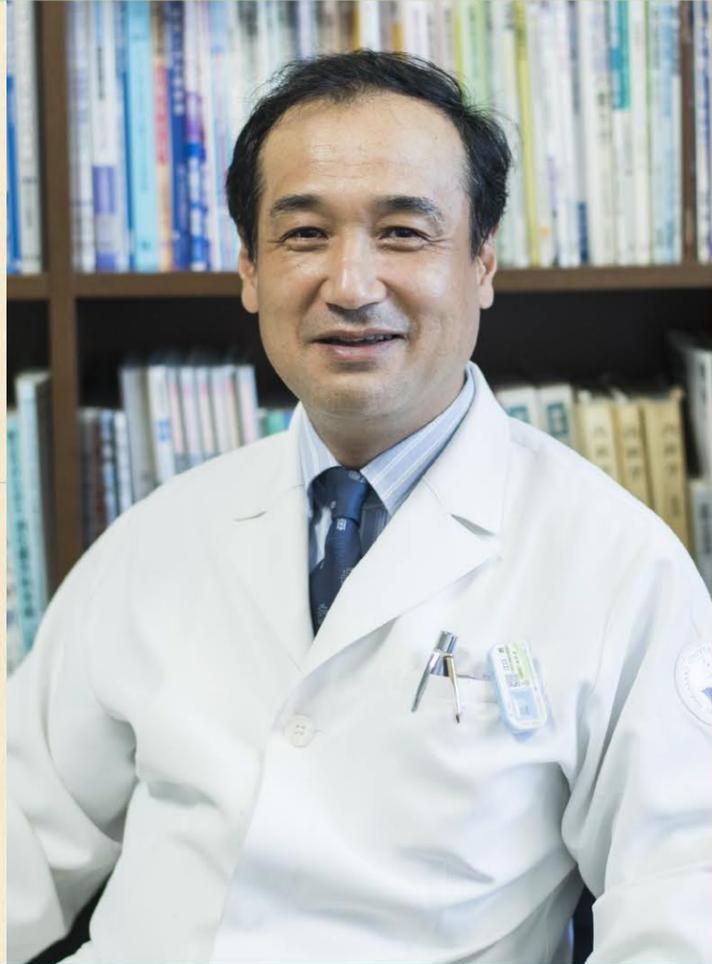
を受けやすくなります。通訳も同行するので、治療はもちろん、検査や支払いもトラブルなくスムーズに進みそうです。推奨には厳しいチェック項目があり、事前に念入りの視察もありました。パスしたことで長崎大学病院の医療技術や設備、病室の環境などが一定の評価をいただいたものと自負しています。また、私も大学病院は高度医療を、長崎みなとメディカルセンターは比較的軽度の疾病の治療を担うよう、すみ分けしています」。

二〇一六年をもって大規模改修工事が終了した長崎大学病院。新たにバススタブや冷蔵庫、大型スクリーンなどの施設が整った広めの個室も出来ました。



外国人患者へ 先進医療を提供し 海外へ高度医療を輸出

長崎大学病院 国際医療センター



ここ数年、長崎に在住する外国人が増えたので良いタイミングでしたね。

「昨年七月のデータでは、長崎市は外国人の人口増加率が全国一になったと聞きました。三菱重工長崎造船所では客船に引き続きタンカーの建造事業も継続しており、外国人エンジニアは今も多く市内に在住しています。また、長崎の観光都市としての知名度もあり、手術を含めた高度医療のニーズは高いでしょう」。

治療のためにカザフスタンから来日した患者さんとそのご家族。



長崎の街がさらに暮らしやすくなり環境が整備されることで、観光地としての評判も上がるかもしれません。

医療技術の海外輸出は 長年の実績あり

J-IHへの加入には国際医療センターが大きな役割を担っているそうですね。

「二〇一二年に長崎大学病院に設立された国際医療センターは、救命救急センター、感染制御教育センター、国際ヒバクシャ医療センター、感染症内科（熱研内科）を対象に運営されています。特に、救命救急センターと国際ヒバクシャ医療センターは、佐賀県の玄海原発や鹿児島県の川内原発などでの事故が発生した場合の緊急被ばく医療も担っています。さらに昨年からは二本柱を加えて本格稼働を始めました。その一つが外国人患者に対する先進的な高度医療（インバウンド）であり、もう一つが高度医療と技術の海外への輸出（アウトバウンド）です。とはいえ、これまでも長崎大学は、一九六〇年代から医療関係者がアフリカで医療支援を継続してきましたし、原爆後障害医療研究所がチェルノブイリや福島などでの被ばく医療で功績を積みできました。大学病院全体で調べてみると、各々が個々に行ってきた海外支援や、海外医療者向けに日本で行う研修など、国際交流は頻繁に行われていま



長崎大学病院



JIHの推奨証。専門病院や私立病院が認定されることが多い中で、国立大学病院としては全国で4番目に長崎大学病院が認定されました。

江口 晋 国際医療センター長 Sumihiro EGUCHI
長崎大学大学院 移植・消化器外科教授。長崎大学医学部卒業。博士（医学）。米国シードーズ・サイナイ医療センター（Cedars-Sinai Medical Center）、オランダのフローニンゲン大学病院を経て、二〇一六年まで副院長。二〇一六年より現職。消化器外科 移植外科が専門。

した。このような実績を重ねてきたのですが、研究と教育の側面からの評価が主でした。私も国立大学病院での国際医療の会議で「長崎大学は、ケニア、ベラルーシ、ベトナムなど海外に医療拠点を置いています」と発言したら他の大学病院から驚かれました。これを機会に、国内外にしっかりとアピールしていきたいですね」。

江口センター長自身も、生体肝移植のエキスパートとして、多くの治療や教育実績をお持ちです。

「カザフスタンでは十例以上の生体肝移植手術で執刀しました。多くの医療関係者にも教え、今では地元外科医が自力で手術できるまでになりました。海外では、言葉や文化の違いだけでなく手術の作法も違い、ポリビアのような高地では呼吸するのも一苦労でした。しかし今後、こういった国際医療の現場で日本の高度医療技術を教える場面は増加していくでしょう。後に続く世代が国際的な現場で医療技術を教えられるようになるためにも、医学部のカリキュラムに海外研修を意図的に取り入れています」。

特に、感染症、被ばく医療、移植医療などは、長崎大学が最も強い分野といわれています。地域への貢献とともに、強みを生かしながらグローバルに活躍する人材を教育する機関としても、大いに期待されるところです。

※MEJ 一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ) 官民一体で日本の医療の国際展開を支援する法人

九十九島は 日本が誇る財産

西海国立公園九十九島水族館「海きらら」館長

川久保晶博



セリ人から水族館の館長へ
魚集めならおまかせあれ

佐世保市の九十九島を望む西海国立公園に、全国的に注目を集めている水族館「海きらら」があります。実は水族館としてオープンした一九九七年から入館者数が増え続けており、一度も減っていないのだそうです。この西海国立公園九十九島水族館「海きらら」の館長である川久保晶博さんは、水産学部の卒業生。館長に就任するまでの経歴が一風変わっている異色の方でもありました。

「佐世保出身で、たまたま叔父でしよう」。

そんなにすごいものとは知りませんでした。

「佐世保や長崎の人はあまりピョンと来ていないようです。ラッコやペンギンといったカリスマ性のある生き物はいませんが、カブトガニや、それまで国内では一カ



所にはいないとされていた天然記念物の植物トビカズラが自生していることも確認されました。実はすごいことで、こういったニュースを折々で発信しながら九十九島の自然を紹介しています。

が長崎大学水産学部の練習船のエンジンニアでした。「水産学部はよかぞー、来ーい」という一言で長崎大学へ。そこで魚の勉強をするうちに面白さに目覚めて、毎日魚を見られる所はどこだろうと思案した結果、佐世保魚市場へ就職することに決めました。以西底引き漁の魚が多い長崎やサバなどの青物の多い松浦の魚市場と比べ、佐世保は魚種が豊富な「色物市場」。いろいろな魚を見るだけでも楽しかったですね。タイ、ヒラメ、メジナや、イカだけでもケンサキ、ヤリイカ、アオリイカ、スルメイカ…。三年後にはセリ人になりました。魚市場では花形的な存在で

すよ。その後、ハウステンボスで魚介類の仕入れをやるうちに、佐世保に水族館ができることになり、水産学部出身というキャリアを見込まれて水族館の立ち上げから関わりました」。

つまり、食べる魚から見る魚への転換ということですか？

「はい。私としては、魚が大好きなので特に違和感はありませんでした。十三年間にわたるセリ人の頃の知識とネットワークがあるので、いつの時期にどんな魚種が取れるのかもだいたい頭に入っています。こういった魚が欲しいなと思ったら、あの時期にあの人に電話すれば手に入るなど。日本で

大学との共同研究から「海賊」まで「好き」だからできる」と

今も長崎大学の研究者と共同で調査することがあるそうですね。

「はい、大学の研究者とともに定置網の漁業者にも協力してもら

一番魚に苦労しない水族館かもしれない（笑）」。

八割を占める自然海岸は生物多様性の見本

実は取材の日も「朝から海に藻を採りに行くので、午後でいいですか」と指定されました。

館長自ら海に入るので「種から育てた海藻を海に移植しており、その成長具合を見に行きました。私の基本はフィールドです。職員にも、自分たちのテーマである九十九島をしっかり観察して、それを水槽に再現して伝え

い、漁獲された魚種の調査をやっています。温暖化の影響は、実は陸上よりも海の方が激しいようです。冬場の水温が下がらないことが影響して、獲れる時期も場所もずれています。『海の中はぐちゃぐちゃになっている』という漁業者の方の言葉がすべてを物

語っています。そのほか珊瑚の生息の調査など、いくつものフィールド調査を進行しています」。

水族館の運営もありますし、大忙しですね。

「『海きらら』では、市民や大学生などたくさんのボランティアが主体的に動いて、読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどのイベントを催してくれています。私も頼まれて舞台で『海賊』に扮することもありますが、館内の展示でもそうですが、メッセージ性を前面に出し過ぎないで、自分も楽しみながらお客さんに楽しんでもらう。その上で、この生き物は好きだな、いなくならないように自然環境を守るのが大切な、というのが意識が一段階上がる。交流や情報発信が活発になれば、『あそこは元気だから一度見ておくれか』とさらに人が増える。その好循環が入館者数が増え続けている大きな要素かもしれません」。

「魚が好き」がすべての基本と笑う川久保さん。小麦色の笑顔の理由は、「好き」を仕事にできる幸せと、「好き」だからこそ感じる環境保全への責任感から生まれるのかもしれない。

かわくほあきひろ
させほパールシー株式会社常務取締役(西海国立公園九十九島水族館館長)。長崎大学水産学部卒業後、佐世保ハウステンボス株式会社を経てさせほパールシーに入社。水族館館長として業績を上げる一方で九十九島の自然調査にも取り組んでいる。

古代ローマの伝説の怪魚

長崎大学所蔵の『グラバー図譜』から毎回一点をクローズアップして水産学部の山口敦子先生に解説していただくこのコーナー。今回登場するのは、コバンザメです。

「コバンザメは、スズキ目コバンザメ科に分類される硬骨魚の仲間、東太平洋を除く全世界の暖かい海に生息しています。サメの名が付いてはいるものの、サメの仲間ではありません。誤解を避けるため、コバンイタダキと名付けられたこともあります。日本周辺に生息するシロコバン、ナガコバン、クロコバンなど七種のコバンザメ科魚類の中でも本種は大きく、最大で全長一メートルに達します。今では全国的にコバンザメの名で親しまれていますが、かつての地方名にはフナシトギ、ゾオリベタ、ソロバンウオなど奇異なものも多く見られました。アヤカシ（福井）、フナイトリ（京都）はいずれも妖怪や化け物のこと。「見かけによらぬ油断のならぬもの」を意味するヤスダイ（和歌山）の名が示すように、その小さな体に見合わず恐ろしくて不吉な生物の象徴と捉えられることもありました。古代ローマの博物学者プリニウスが記した『博物誌』によりますと、第三代皇帝カリ

にある板状のひだは、普段は後方に倒れています。魚に付くとそのひだが起き上がり、びたっと吸着します。しっぽを持って後ろから引っ張っても外れませんが、逆に前に押しつければすっと外れるのも納得です。コバンザメは強い魚に便乗しておこぼれをちゃっかりいただくばかりの魚とお思いでしょう。時には餌のおこぼれをもらうこともあるようですが、サメやクジラの口やえらの中に入って寄生虫を食べたり、糞便や腐敗した表皮組織を食べたりとせつせとお掃除しているのです。片利共生ではなく、相利共生というわけです。ただし、残念ながらサメの胃の中から見つかることもあるので、うっかり餌となってしまうこともあるようです」。

「西インド諸島やモザンビークなどアフリカ東部沿岸をはじめとしたインド洋の周辺地域で始まり、日本を含む太平洋沿岸に広く伝承した、コバンザメによるユニークな漁業があります。コバンザメを小さいうちから飼慣らし、ある程度の大きさになると尾の部分に金具を取り付け、そこに細長いロープをつないでおきます。漁師がサメやカメ、マナティなどを見つけたら、コバンザメを放ちます。コバンザメはそちらに向かって一直接線に泳ぎ、吸盤でくっついたところを漁師が引っ張り上げる

グラが乗る船に一匹の小さなコバンザメが付着したところ船脚が止まり、四百人でこいでもまったく動かなかったというのです。コバンザメを取り除いてなんとか帰還したものの、直後にカリグラは暗殺されました。もしも船が遅れなければ、運命は違っていたかもしれません。コバンザメ属を表す学名 *Echeneis* は「船を引き留める小魚」を意味し、種小名の *naucrates* は「海の支配者、速い航行を司る魚の一種」を意味するギリシャ語に由来するものです。ヨーロッパなど世界各地に残された古い絵画の数々に恐ろしい頭の形をした怪魚として描かれています」。

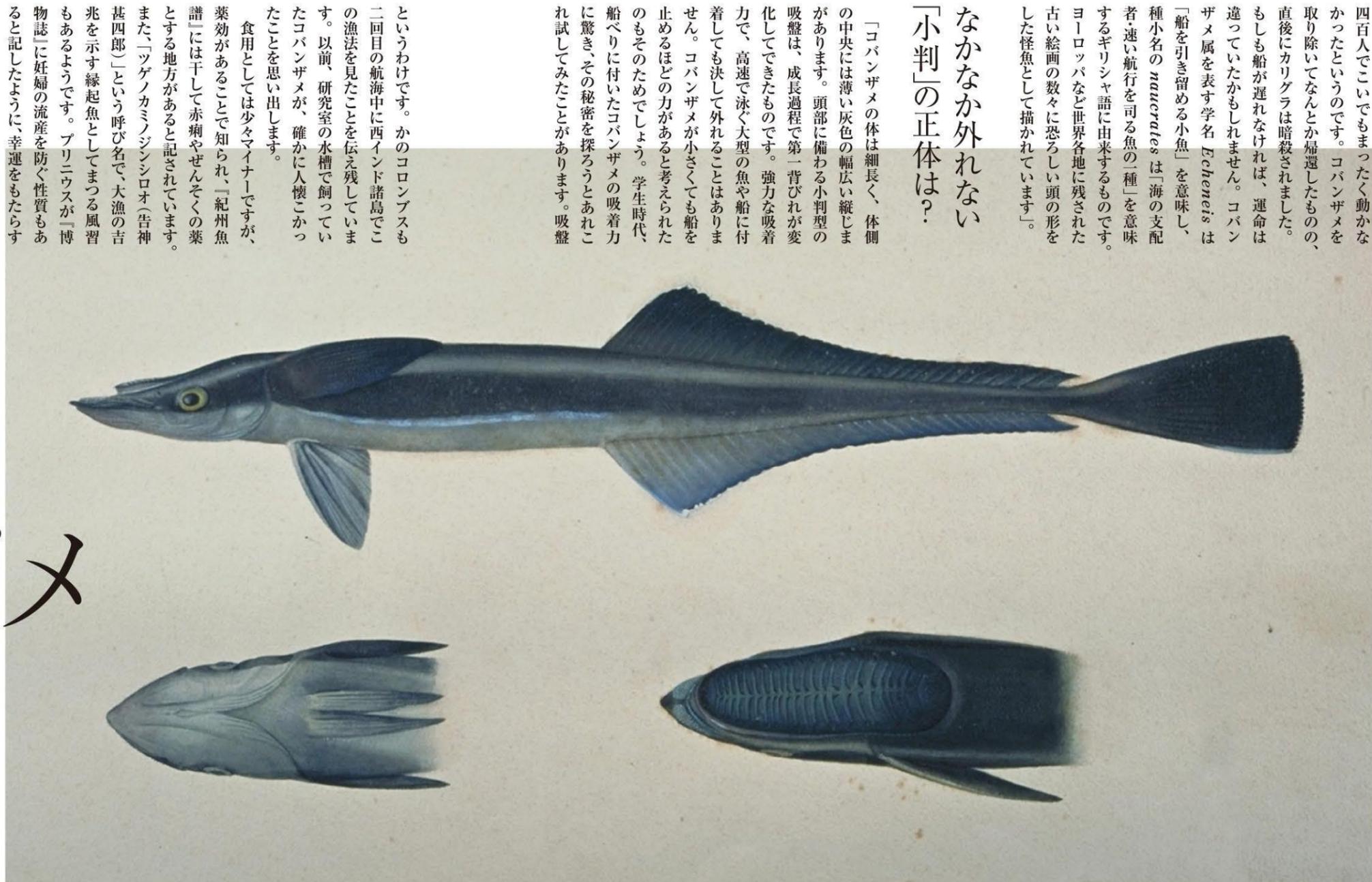
なかなか外れない「小判」の正体は？

「コバンザメの体は細長く、体側の中央には薄い灰色の幅広い縦じまがあります。頭部に備わる小判型の吸盤は、成長過程で第一背びれが変化してできたものです。強力な吸着力で、高速で泳ぐ大型の魚や船に付着しても決して外れることはありません。コバンザメが小さくても船を止めるほどの力があると考えられたのもそのためでしょう。学生時代、船べりに付いたコバンザメの吸着力に驚き、その秘密を探ろうとあれこれ試してみたことがあります。吸盤

というわけです。かのコロンプスも二回目の航海中に西インド諸島での漁法を見たことを伝え残しています。以前、研究室の水槽で飼っていたコバンザメが、確かに人懐こかったことを思い出します。

食用としては少々マイナーですが、薬効があることで知られ、『紀州魚譜』には干して赤痢やせんそくの薬とする地方があると記されています。また、「ツゲノカミノジンシロオ（告神甚四郎）」という呼び名で、大漁の吉兆を示す縁起魚としてまつる風習もあるようです。プリニウスが『博物誌』に妊婦の流産を防ぐ性質もあると記したように、幸運をもたらす魚としての一面もあるのですよ」。

大漁の吉兆か航海の邪魔者か。不思議な二面性のある魚ですね。



解説 山口敦子
長崎大学水産・環境科学総合研究科教授
Yamaguchi Atsuko
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。2000年から長崎大学。専門はエイやサメなど魚類学と水産資源学の研究。主な著書に「干潟の海に生きる魚たちー有明海の豊かさと危機」(東海大学出版)など。

Glover Atlas

コバンザメ

Echeneis naucrates

画家 長谷川雪香

グラバー図譜

日本西部及び南部魚類図譜

Fishes of Southern & Western Japan

長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>

「グラバー図譜」は、長崎の実業家であった倉場富三郎氏が編集したコレクションです。日本四大魚譜の一つであるといわれています。

グローバル化時代における 長崎大学の意味

前長崎大学長 片峰 茂 Shigeru Katamine

この秋、任期満了により退任された片峰茂前学長より、
長崎大学の学生たち(そして未来の学生たち)に向けた
最後の熱いエールです。

“グローバル化の夢”と 地域の多様性

二十世紀後半以降の驚異的な交通運輸手段や情報技術の発展は、ヒト・モノ・カネ・情報が超高速で国境を越えて動くグローバル化社会をこの世にもたらしました。今や経済のみならず学術・教育や文化など、人間のあらゆる活動がボーダーレスです。

グローバル化の未来には夢があります。それは、科学技術の進歩や経済発展の恩恵を地球の隅々までもたらし、国家・民族の相互理解や相互依存を通して世界平和をもたらすことです。ところが、現実には今、グローバル化、中でもグローバル資本主義の矛盾が噴出しています。世界の限りある資源・食糧・市場を巡る競争が激化し、結果として特定の企業や個人に富が集積しています。それは国家間のみならず、一つの国の中にも深刻な格差をもたらしました。貧困や難民問題とテロリズムは、すべてこの格差と密接に関係しています。そして、米国のトランプ政権に見るがごとく、欧米を中心に反グローバル化、孤立主義、排外主

義への志向が台頭し始めています。日本においては首都圏一極集中が進行し、地方では若者が流出して空洞化が進んでいます。

それでも、お構いなしにグローバル化は進行します。矛盾を止揚し、“グローバル化の夢”をこの先につなげられるか否かが問われています。私は、そのための突破口は「多様性」の復権と活用にしかないと思います。民族、宗教、文化、および大学や企業といった共同体などの多様性です。個人はもちろん、ジェンダーも重要な多様性です。多様性が、それぞれの個性を尊重しながらつながること、それぞれの個性が輝きを放ち世界に貢献することが、グローバル化社会の未来にとっても大きな意味を持ちます。わが国における、最重要の多様性の要素は東西南北に長く伸びる列島に散在する地方・地域にあります。グローバル化社会には、中央や地方、先進国や途上国の別なく、何処に在っても最先端を生み出し世界に影響力を持つために十分な環境があるはずです。「一元性から多元性へ、集中から分散へ」というパラダイムシフトを実現し“グローバル化の夢”をつなぐことが、地方創生の真の意味なので

す。その中で、地域の大学が持つ役割はとて大きいと思います。

世界につながる 長崎大学の個性

豊かな海に囲まれた美しい街、長崎。過去にさまざまな物語の舞台となった街です。原爆被災、江戸時代の出島など、鮮烈な記憶が今も息づいています。他にはない風土や記憶は、長崎が世界につながるための絶好の「素材」です。その長崎で今、二十一世紀の新しい物語の芽がたくさん育ちつつあります。例えば、感染症研究、地球規模の保健医療、核兵器廃絶、放射線健康リスク管理、海洋エネルギー開発、水・海洋環境保全など、グローバル化時代の地球規模の課題と正面から向き合う長崎発の個性ある物語です。その中心には、長崎大学の教職員や学生がいます。大学の研究力が生み出す新しい発想と価値観が、実学の伝統に培われた現場力と行動力、そして人づくり力を介して、地域や世界の現場とつながり、一つの物語を紡ぎ出そうとしています。

地球規模の課題のしわ寄せは、世



かたみねしげる
長崎大学医学部卒業。東北大学大学院医学研究科修了。医学博士。専門はウイルス学(特にプリオン)。長崎大学歯学部総合研究科教授、長崎大学国際連携研究戦略本部長、長崎大学学長特別補佐などを経て二〇〇八年、第十四代長崎大学学長となる。三期九年の任期を終え、今年九月三十日を持って退任。

界においては途上国に、国内においては地方に顕著に現れます。まさに、地域を掘り下げることで世界が見えてくる、そんな時代です。長崎という地域が直面する医療、産業、教育、環境といったあらゆる課題も、グローバル化と無縁ではありません。長崎大学は、地域の課題と向き合うことで、新たな価値観と人材を創造します。地域の課題の中にこそ、地球規模の課題の解決の糸口を

探すことができるはずで
今、長崎大学では自らの意志で主体的に地域の課題に取り組む学生諸君の数が増え始めています。そして彼らの取り組みは、グローバルに展開し始めています。その中で、彼らの瞳は輝き、目に見えて大きな成長を遂げていきます。本学の実学の伝統に裏打ちされた確かな専門知識や技術に加え、地域への愛情と世界を俯瞰する視野を併せ持ち、かつ行動

力と協働力に富む若者が育っています。そんな人生の冒険家の、地域や世界の現場における新たな挑戦こそが、個性ある地方創生を実現し、ひいては“グローバル化の夢”の実現を引き寄せます。今後の彼らの活躍がとて楽しみです。長崎大学から、そんな個性的な人材が一人でも多く育ってほしいと思います。

2017長大祭

宴 ～一祭合祭 気張りの祭～

11.3 FRY — 4 SAT

今年は、「宴 ～一祭合祭 気張りの祭～」をテーマとして掲げ、運営する私たちはもちろん、学園祭に来てくださる方、参加して下さる方々と一緒になって遊び、踊り、楽しめるような学園祭にしたいという思いを込めています。老若男女に楽しんでいただける企画やイベントを多数計画しておりますので、ぜひお越しください。

長大祭HP

<http://nagasakiunifes.wixsite.com/nagasakiunifes>

詳細はこちら!



※写真は2016年



Choho

長崎大学広報誌
[チョーホー]

編集後記

10月1日付けで、新学長に就任された河野 茂先生へのインタビューを特集いたしました。聞き手には、(株)長崎経済研究所の小川 洋様をお願いいたしました。長崎大学は、希望に満ち溢れた学生のパワーと可能性を最大限に引き出し、社会で活躍できる人材の育成をはじめ、長崎大学が行う研究や地域貢献のあり方、そしてご自身の「挑戦」も含めて、新学長としての思いを熱く語っていただきました。特に、受験生の皆様には、他大学にない長崎大学の魅力を存分に感じ取っていただけたものと思います。

新旧学長の交代には、時の流れを実感させられます。前学長の片峰 茂先生には、「グローバル化時代における長崎大学の意味」と題して、これからの未来を築く長崎大学の学生たちへのエールをいただきました。片峰先生には、在任中「Choho」への多大なるご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

(原田哲夫)

[編集・発行] Choho企画編集会議

編集長 副学長、広報戦略本部副本部長
原田 哲夫 工学研究科 教授

副編集長
相楽 隆正 工学研究科 教授

編集委員
滝澤 克彦 多文化社会学部 准教授
堀内 伊吹 教育学部 教授
山口 純哉 経済学部 准教授
松下 吉樹 水産・環境科学総合研究科 教授
佐々木 均 病院 教授
富山 明華 大学教育イノベーションセンター 助教
西田 憲司 やってみよーでスク マネージャー
深尾 典男 副学長、広報戦略本部副本部長 教授
高蔵 祐亮 広報戦略本部 主査
井上 泉 広報戦略本部 主任
尾中 紀夫 広報戦略本部 主任
濱崎 麻依 広報戦略本部

川良 真理 編集
三浦 秀樹 デザイン
浅野 眞 企画編集アドバイザー
池田 幸恵 企画編集アドバイザー

TEL.095-819-2007
FAX.095-819-2156

✉ www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

Choho(チョーホー) Vol.61
2017年10月1日発行

クイズへの応募は右記からも可能です。



Information

長崎大学大学院多文化社会学研究科 (修士課程)

2018年
4月設置

既存の学問分野の枠を越え、人文社会科学系の「超越的」かつ「俯瞰的」な専門知識の修得を目指します。

実践のための5つの科目群	グローバル・スタディーズ科目群
	政策科学科目群
	環海日本長崎学・アジア研究科目群
	言語多様性科目群
	核軍縮・不拡散科目群

入試情報

入学定員/10名
入試の種類/一般入試・外国人留学生入試
出願期間/2017年12月11日(月)～12月22日(金)
試験日/2018年2月13日(火)
試験科目
一般入試:筆記試験(専門科目・外国語)、口述試験(面接)
外国人留学生入試:筆記試験(専門科目・日本語)、口述試験(面接)

詳しくは <http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/gradschool/selection.html>

お問い合わせは <http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/contact.html>

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (博士後期課程)

2018年
4月設置

本研究科では、グローバルヘルス領域において、研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の能力と、その基礎となる豊かな学識を備え、国際的環境のなかで、グローバルヘルス領域における国際共同研究・実践プロジェクトを推進できる人材を養成します。

新設する2専攻	グローバルヘルス専攻 5名
	長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 国際連携グローバルヘルス専攻 5名

お問い合わせは 熱帯医学・グローバルヘルス研究科事務局 TEL.095-819-7583 メール tmhg_jimu@ml.nagasaki-u.ac.jp

プレゼントクイズ

今号の特集の対談でもたっぷりお話を伺った河野茂新学長は、ある趣味をお持ちで、それは大学の中でも随所に生かされています。その趣味とはいったい何でしょう。

- ① ランニング
- ② 日曜大工
- ③ 書道

解答は挟み込みのハガキにご記入のうえ、郵送してください。長崎大学のウェブサイトからもご応募できます。正解者のなかから抽選で5名の方に長崎県産品をプレゼント!

前号の答え/② 水産学部

現在、週刊漫画雑誌「少年サンデー」(小学館)では本学出身の草場道輝氏による連載漫画「第九の波濤」が連載中です。これは長崎大学に実在するある学部が舞台です。それは何学部でしょう。

都会育ちの男子学生がひよんなことからあった長崎の女子学生に惹かれて入学した長崎大学水産学部。そこで展開する恋と冒険の物語で、現役長大生の間でも大変話題になっています。

今回のプレゼント

一見生パスタのようにも見える「島原手延べ よりかけ麺」は、「第48回長崎県特産品新作展農産加工品・酒・飲料部門」において優秀賞を受賞しました。麺全体によりをかけており、ゆでてもよりが戻りにくいのでタレやソースがよく絡むのが特徴です。箸からも滑り落ちにくく、食べやすい麺です。国内産100%の小麦粉を使用し、乾麺なのにゆで上がりは手打ちうどんや生パスタのよう。モチモチとしたコシの強さは和洋中のどんな麺料理にもアレンジできます。今回は正解者の中から抽選で5名の方に、この詰め合わせをプレゼントします。



提供/山翔(南島原市有家町) TEL.0957-82-1740

長崎県物産館 TEL.095-821-6580 http://www.e-nagasaki.com/contents/bussan_bild/

夢に向かって勉強がんばるぞっ

充実したキャンパスライフを送ろう!!

18教育ローン

ご存知ですか...? こんなにかかる教育費用。

大学	国公立	私立文系	私立理系
入学費用	79.7	95.9	120.1
在学費用	405.2	599.2	759.6
4年間の総費用	484.9	695.1	879.7

出典:教育費負担の実態調査結果(平成28年度)日本政策金融公庫
※入学費用:受験費用、学校納付金、入学しなかった学校への納付金
※在学費用:学校教育費(授業料、通学費、教科書代など)、家庭教育費(塾の月謝、お稽古事の費用)

おすすめポイント

- ポイント1 進学がまだお決まりでなくても、事前の仮審査OK!(確認資料不要)
- ポイント2 在学期間中は、お利息のみの返済もOK!!

お申込みは 下記電話・インターネット・スマホ等で! 年中無休で受付中!

十八銀行 ダイレクトマーケティングセンター

☎ 0120-18-5639 (ジュウハチ コール サンキュー)

受付時間/平日 9:00~17:00
土・日・祝日 10:00~17:00
(ただし、12/31~1/3 および 5/3~5/5を除きます)

土・日・祝日も受付中!

18bank 十八銀行 (平成29年9月1日現在)